

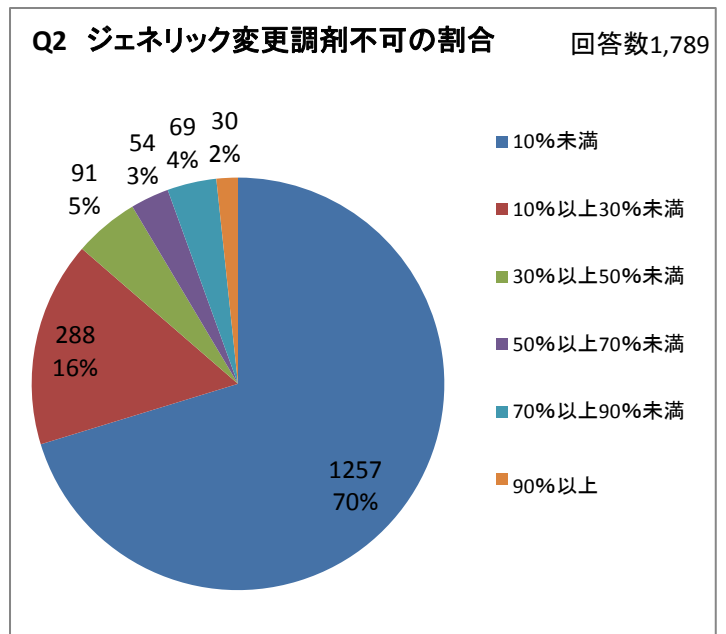
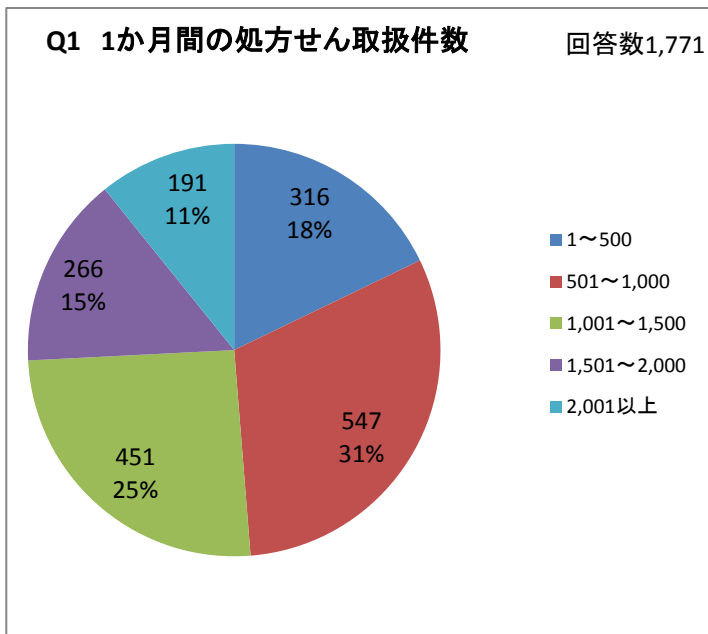
〈調剤薬局あて〉  
ジェネリック医薬品  
アンケート結果

対 象 : 愛知県内の全調剤薬局(2,943薬局)

方 法 : アンケート用紙を平成28年7月8日(金)に送付し、  
返信用封筒にて回収

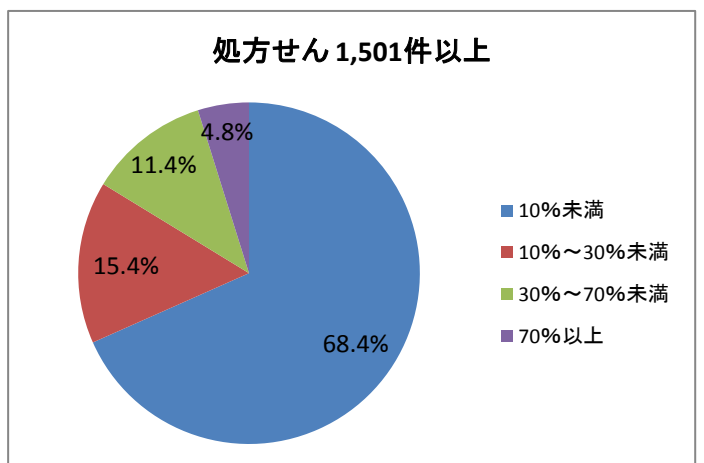
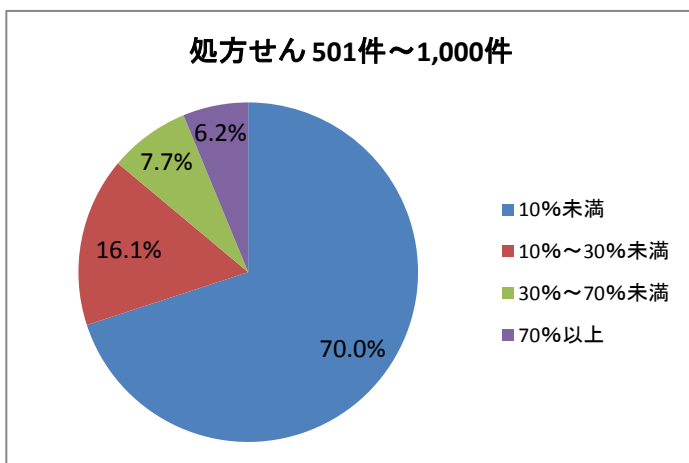
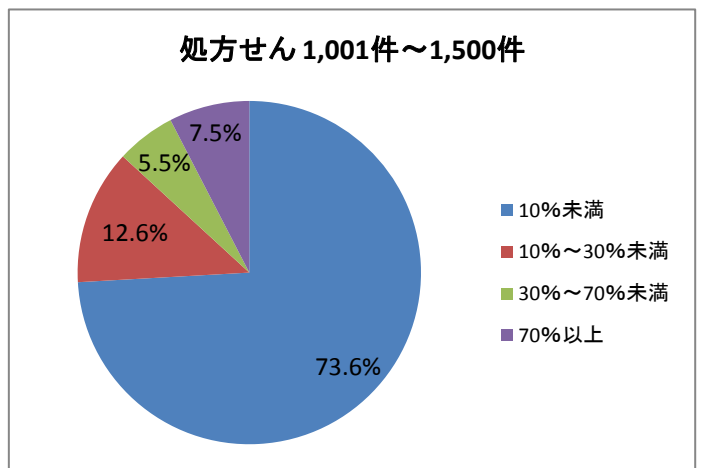
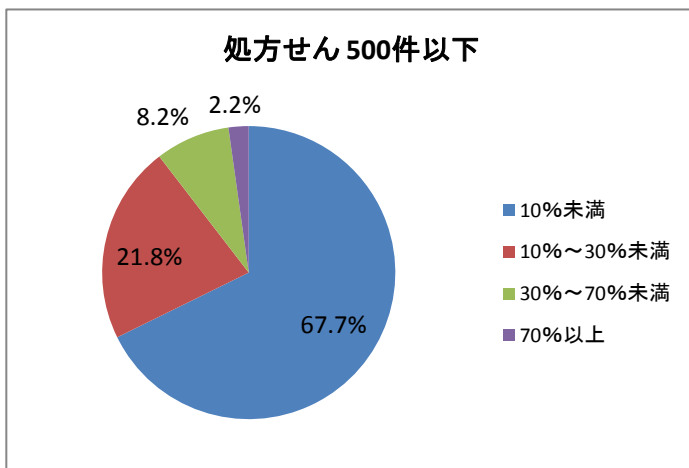
回答薬局数 : 1,797薬局 (回答率:61.1%)

※ 保険財政・ジェネリック医薬品使用割合の現状、協会けんぽの取り組み(軽減額通知)  
について薬剤師あてに広報するチラシも作成し同封



◆10%未満が7割を占めている

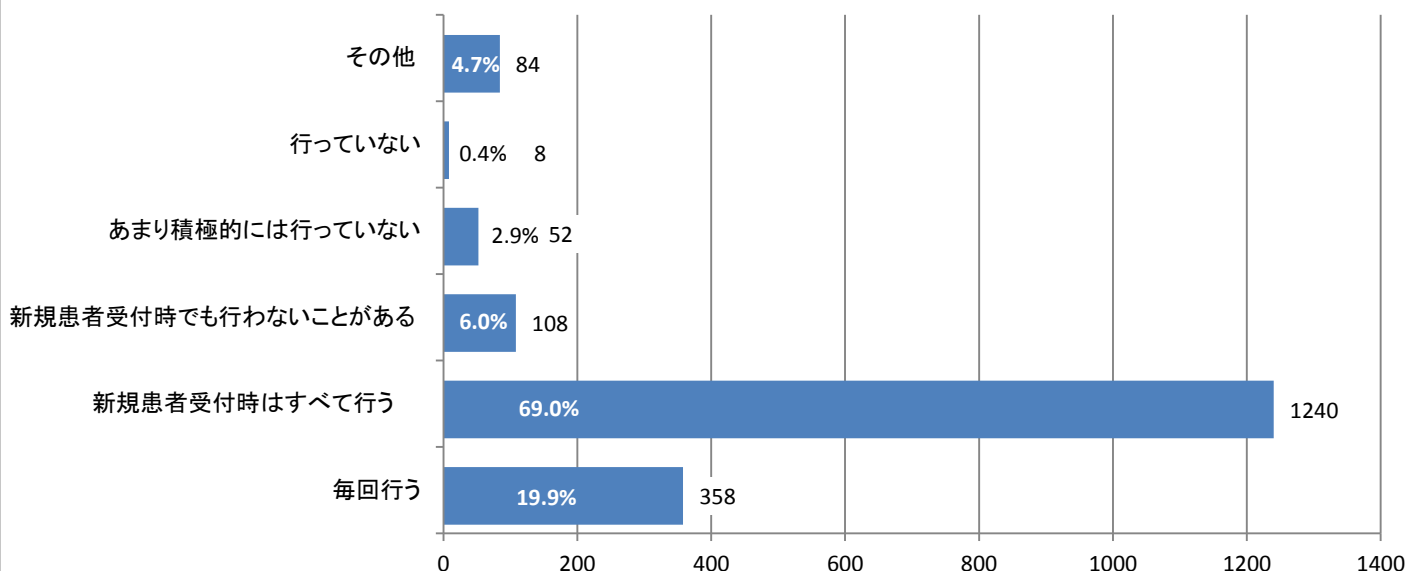
★ 処方せん取扱件数規模別のジェネリック変更調剤不可の割合



◆薬局の規模が違っても10%未満が7割前後を占めており、ほとんど差異はなかった

### Q3 ジェネリックへの変更について、どの程度声掛けしているのか

複数回答あり 総回答数1,850



- ◆約2割が毎回声掛けしている
- ◆7割近くが新規患者受付時に声掛けしている
- ◆積極的に声掛けしていないのは、3%程度

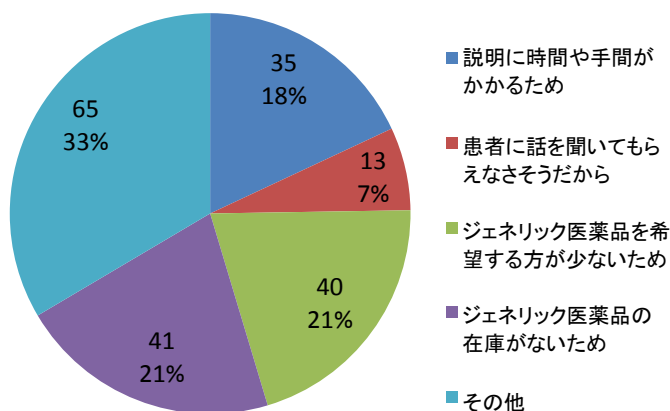
#### 〈その他の主な意見〉

- ・新しい薬が処方された時や、発売された時。
- ・いったん声掛けしてから、半年や1年などの一定期間経過後。

質問3にて、[③新規患者受付時でも行わないことがある ④あまり積極的には行っていない ⑤行っていない]を選択した場合についての質問

### Q4 声掛けが難しい理由について

回答数194



#### 〈その他の主な意見〉

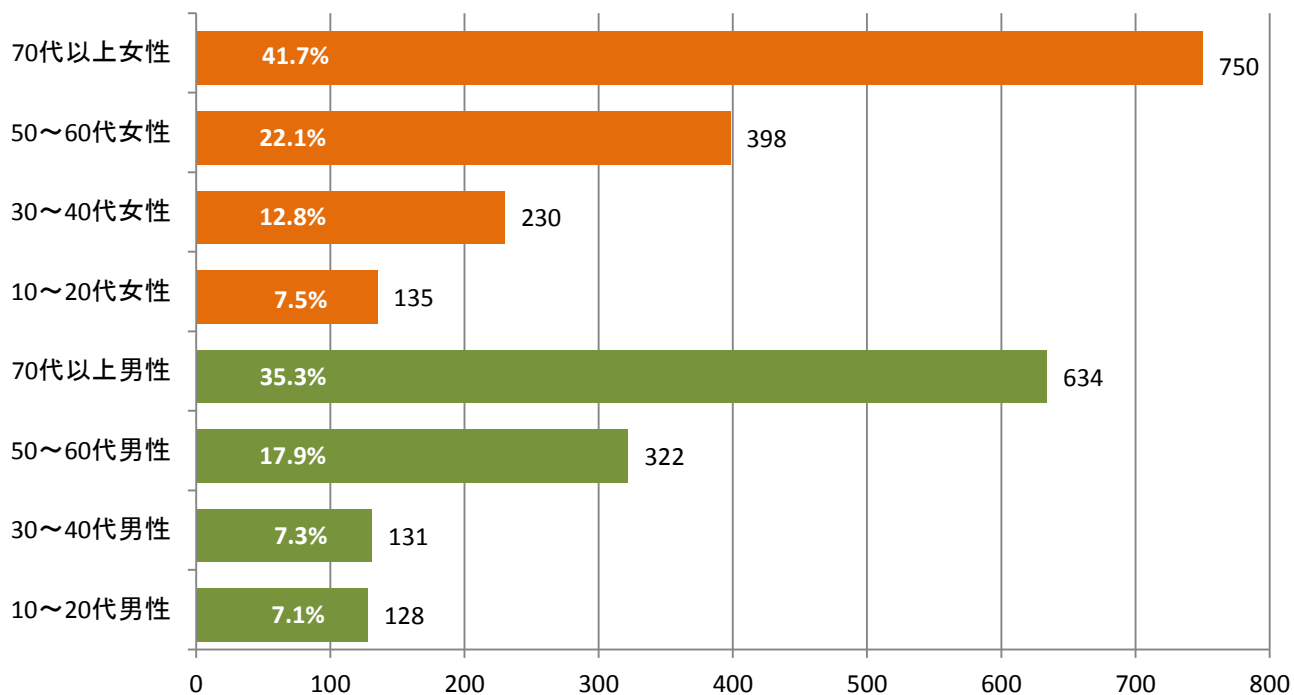
- 医師の意向に関するもの 18件(全体の約10%)
  - ・隣接医院がジェネリックに積極的ではない。
  - ・医師があまり積極的変更を望んでいない。
- 患者の希望や体調に応じて行うもの 13件 (全体の約7%)
  - ・新規の方は体調不良の方が多いため、初回の説明はしない場合が多い。
  - ・申し出があった場合や希望シールがあった時のみ声かけをする事になっているため。

#### ●その他

- ・ジェネリックに変更する事によって効果がなかったと度々言われた。外用薬は使いにくいなどの意見が多いので。
- ・他局から移ってきた場合、今までもらっていた薬(先発品)に合わせてしまうため。

### Q5 ジェネリックへの変更を希望されない年齢層について

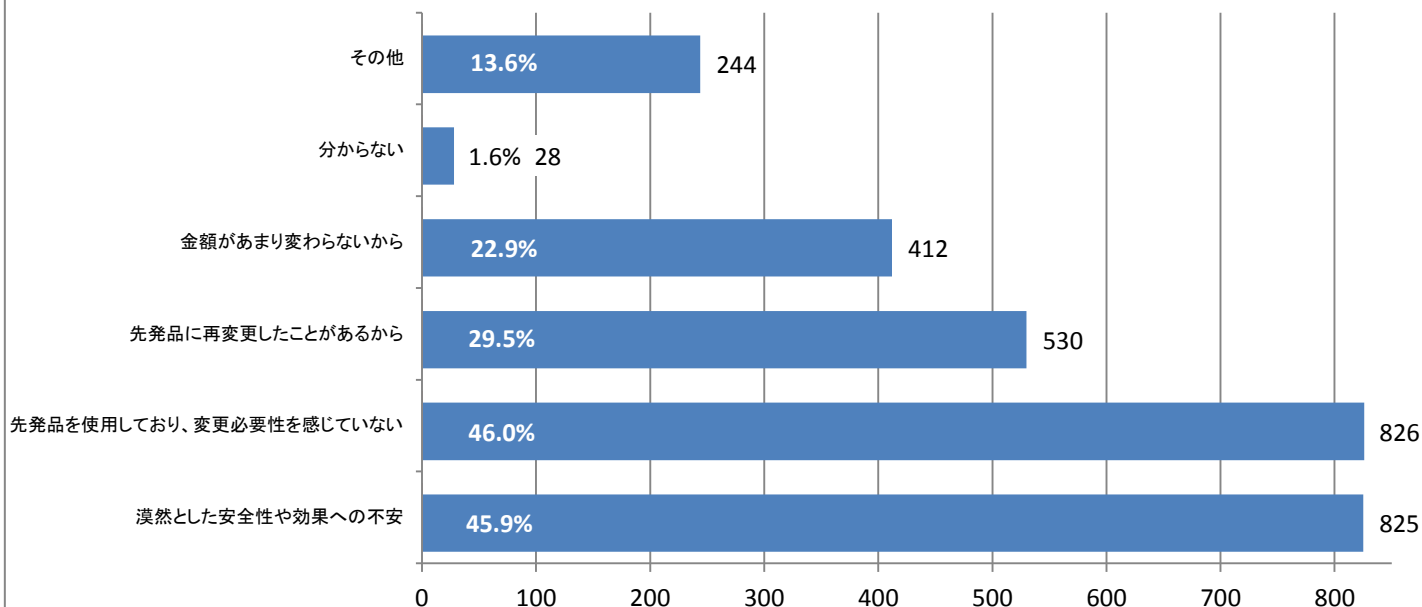
複数回答あり 総回答数2,728



- ◆70代以上が男女ともに突出して多い ◆男女ともに、年代が高くなるほど割合が増加している
- ◆どの階層も、男性より女性のほうが多い

### Q6 患者がジェネリックへの変更を希望されない理由について

複数回答あり 総回答数2,865



- ◆「漠然とした安全性や効果への不安」と「今まで先発品を使用しており、変更の必要性を感じていない」を、それぞれ半数近くが挙げている

〈その他の主な意見〉

●公費等で負担金が無い事に関すること

119件(全体の6.6%)あり →「金額があまり変わらないから」と合わせると、約3割になる

- ・負担金の無い方(公費など)は、自身の医療費がどの位かかっているかあまり考えていないため、特に変更は希望しない傾向がある。
- ・公費適用によって、負担がない方が変更のメリットが感じられず先発を希望する。
- ・子供さん(15歳以下)の場合は医療が無料であるので、ジェネリックに変える理由がないと言われた。

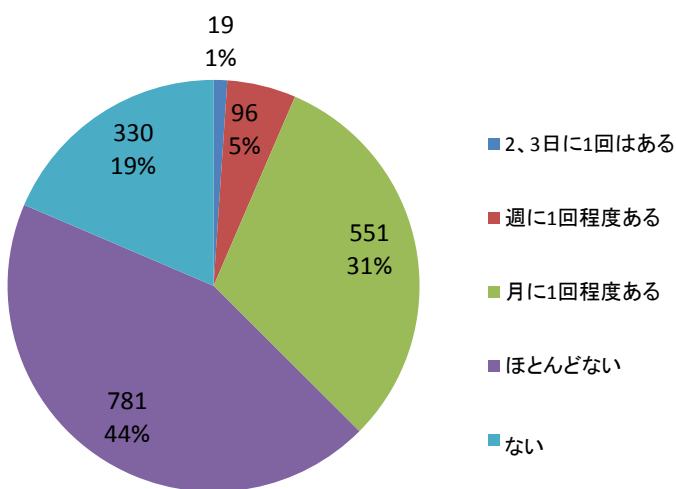
●薬の形状・色・名前の変更に関すること

- ・特に高齢者は薬の名前やヒートの色で覚えているので、変わると分からなくなり、飲み間違いを起こす心配がある。
- ・先発品との名称の違い又デザイン等違うため、抵抗を感じる。成分・効果が同一と説明しても、別にお薬になったように感じる。

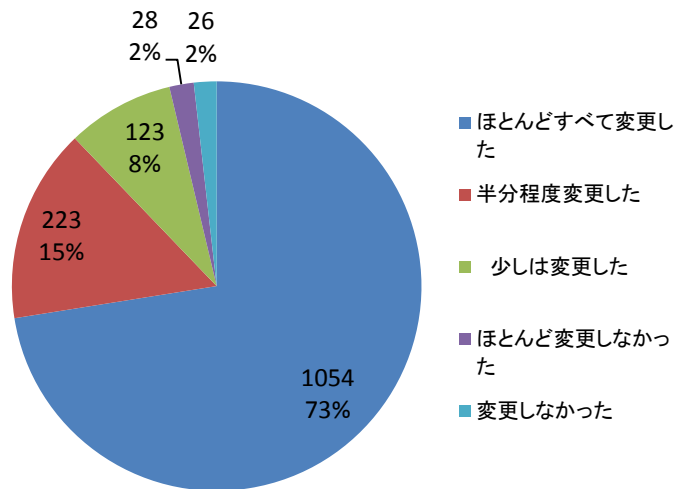
●その他

- ・担当医が処方したものを変更することへ抵抗がある。担当医に対する気兼ねがある。
- ・医師がジェネリックを推奨していない。

Q7 ジェネリック軽減通知を持参して、変更の相談を受けた頻度について 回答数1,777

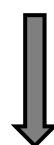
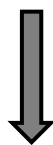


Q8 ジェネリック軽減通知持参した場合の変更割合について 回答数1,454



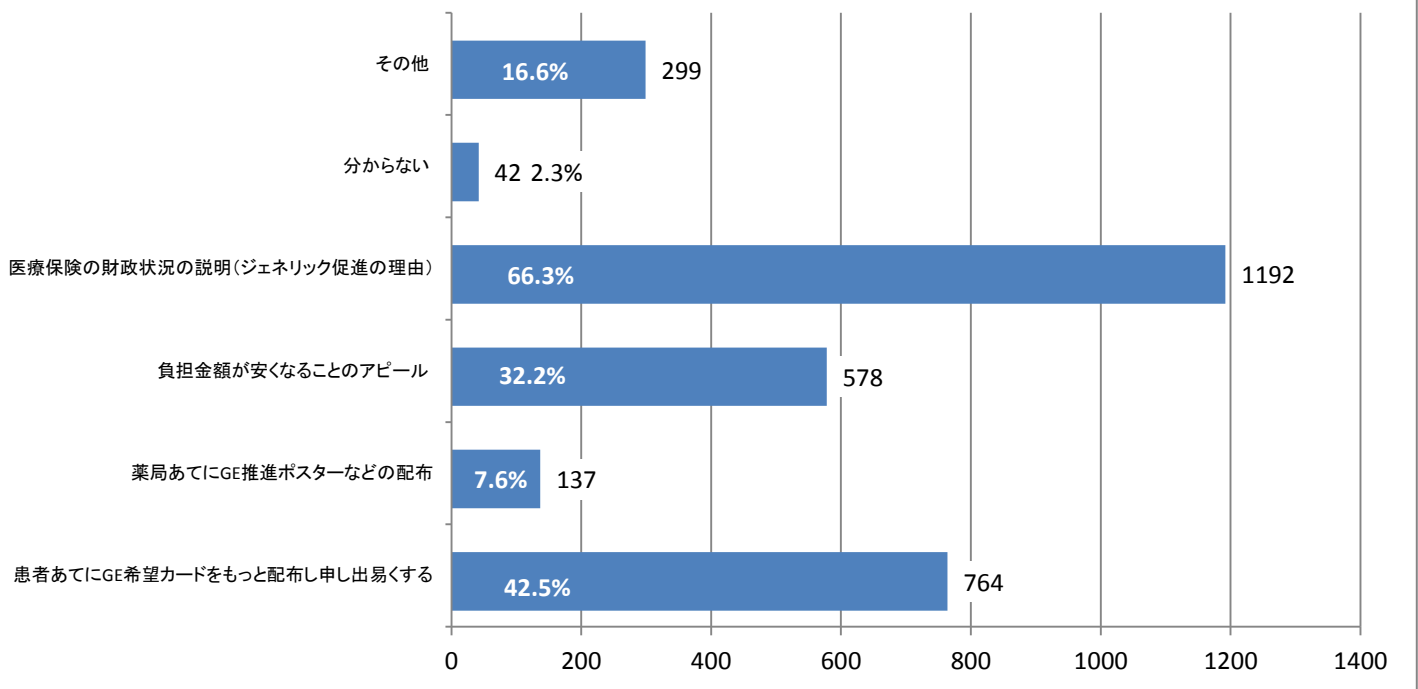
◆「ほとんどない」「ない」を合わせると、63%となる

◆「ほとんどすべて変更した」「半分程度変更した」を合わせると、約9割を占める



減額通知を持参して相談を受ける頻度は少ないが、持参されれば、ほとんどジェネリックに変更している

Q9 ジェネリック使用割合増加のため、協会けんぽが協力できる具体的内容について 複数回答あり 総回答数3,012



◆「医療保険の財政状況の説明(ジェネリック促進の理由)」を66%が挙げている

具体的な意見

- ・ジェネリック切り替えが進まないと、医療財政は危機となり、次世代が医療を受けられないと訴える。
- ・自己負担以外が皆さんの保険料や税金であることのアピール。

〈その他の主な意見〉

●安全性や効果の同等性のアピール

- ・ジェネリックの効能・効果は、厚労省が認可していることをアピールし、ジェネリックに対する信頼を得る。
- ・安全性や効果に問題がないことをアピールし、医師の処方を変えているわけではないことを伝える。
- ・ジェネリックの安全性・有効性をアピール。ジェネリックは体に合わないという患者さんがよくいらっしゃいますが、1種類が合わない=全部合わないという概念を持っているので…。

●医師へのジェネリック推進の働きかけ

- ・可能な範囲で、病院や処方医に理解が得られる取り組みがあるとよい。
- ・一般名処方箋で記載していただくよう推進する。
- ・医師、患者ともに後発品の品質に疑問を持っている方が多い。特に医師への後発品推進の理解はもっと必要だと思う。

●自己負担が無い方への対応

- ・治療上の理由がなく先発品を利用する時は、ジェネリックとの差額を払ってもらう必要があるのではないか。
- ・公費等で自己負担がない方は基本的にジェネリックを使用することになれば、かなり切り替えが進むと思います。

●その他

- ・軽減額通知のため、ジェネリックに対する認知度が上がり、実際に変更するとき話がスムーズに進んだ。
- ・ジェネリックとはどういうものか説明し認知度を上げる。一般名処方とは何かを理解してほしい。

## 〈アンケート集計結果を受けて〉 ジェネリック医薬品使用促進のための今後の取り組み

### 【ジェネリック医薬品に対する安全性や効果への不安の払拭】

ジェネリック医薬品の効果や安全性が先発品と同等であることのさらなる周知に加えて、飲みづらい錠剤を小型化したりコーティングなどで苦みを抑えるなど、服用しやすくなるように工夫されたものもあることの広報を行う。先発医薬品と全く同じ成分（原薬、添加物および製法等）である、「オーソライズド・ジェネリック（AG）」を積極的に紹介する。

### 【自己負担金額が無い（少ない）方への働きかけ】

医療保険の財政状況や医療費が無料になっていることの構造を説明し、各々に自己の問題として認識いただけるように訴える。

### 【自治体との連携】

減額通知を自治体と同時期に送付することで、家族や近所の方との話題に挙がり易くするなど、その地域における軽減額通知の周知・広報の相乗効果を狙う。

また、自治体と連名で医師会・薬剤師会へ依頼を行うことにより、医師・薬剤師から積極的にジェネリック医薬品を勧めていただける環境づくりをする。

### 【軽減額通知の利用促進】

広報誌・メルマガ・ラジオ番組などを利用し、送付時期に合わせ、減額通知を持参して医師・薬剤師に相談することを促す広報（薬局窓口への軽減額通知の持参を促すもの）を行う。

### 【患者から相談し易い環境の整備】

患者からジェネリック医薬品の調剤希望や相談を行い易い環境づくりをする。

そのため、薬局の相談窓口に設置いただくための三角POPを作成。ジェネリック医薬品への会話のきっかけや、切り替えを促進するツールとして活用する。